

令和3年2月24日

館山市長 金丸 謙一 様

館山市総合計画審議会
会長 石渡 和男

第4次館山市総合計画における後期基本計画について（答申）

令和元年8月5日付け館企第24号をもって諮問のあった第4次館山市総合計画「後期基本計画」の策定について、次のとおり答申します。

答 申

当審議会では、第4次館山市総合計画の将来都市像「笑顔あふれる 自然豊かな“あったかふるさと”館山」の実現に向けて、令和3年度から令和7年度までの5年間を展望した「後期基本計画」を策定するに当たり、市民アンケート、市内施設及び市内高等学校での意見募集、パブリックコメントなどを通じて、広く市民の声を聴き、慎重に審議を重ねてきました。

その結果、本基本計画に位置付ける各種施策の推進をSDGsの目標達成につなげ、“個性と多様性を尊重し、誰一人取り残さない、安全・安心で持続可能なまちづくり”を目指すこととしました。

本基本計画の推進に当たっては、引き続き、市民や「産官学金労言」の各種業界等と行政とが一丸となり、下記事項に留意しながら、市内外から“選ばれるまち”となるよう、実効性の高い施策展開が図られることを要望します。

記

1. 「誰一人取り残さない」というSDGsの理念を強く意識し、誰もが多様性を認め合い、その個性を活かして活躍でき、市民一人ひとりが住みやすさや生活の豊かさを実感できるまちづくりを推進されたい。
2. 大規模な自然災害や感染症などのリスクに対する強靱性を高め、市民が安全・安心に暮らせるまちづくりを推進されたい。
3. 少子高齢化・人口減少社会の更なる進行を見据え、デジタル化の推進など、新たな時代の潮流に合った取組を危機感と機動力を持って実施されたい。
4. 市民をはじめ、多様な主体との協働のもと、分野横断的な課題に対しては組織全体で対応するとともに、広域的な課題に対しては関係する自治体や関係機関等との連携強化を図り、取組による波及効果を生み出すような施策展開に努められたい。
5. 緊急性・重要性・費用対効果を重視し、長期的な視点に立った、選択と集中による効率的・効果的な行財政運営に努められたい。

以上